

6年度 大館市功労者に8氏が決定

市政の進展に貢献し、その功績が極めて顕著と認められた人や団体をたたえる大館市功労者表彰。
 6年度の功労者には8氏が決まりました。「市の記念日」の4月1日、秋北ホテルで行われた表彰式では市長が表彰状を手渡すとともに、功労章と記念品を贈ってその功績をたたえました。
 ※「市功労者」は、これまでの市政功労者を改めたものです。

齋藤 威男氏
(片山町1丁目・67歳)



昭和四十三年から現在まで二十五年にわたり、民生児童委員として社会福祉増進に積極的に取り組まれました。特に、下川沿地区民生委員協議会総務及び大館市民生児童委員総務連絡協議会副会長を務め、民生委員協議会の組織強化に尽力されたほか、大館市社会福祉協議会の理事として地域社会福祉事業の推進に貢献されました。

武田 セイ氏
(桜町・72歳)



昭和四十三年から現在まで二十五年にわたり、民生児童委員として社会福祉増進に積極的に取り組まれました。特に、第六区民生委員協議会総務及び大館市民生児童委員総務連絡協議会副会長、同婦人会長を務め、婦

人民生児童委員の研鑽に尽力されたほか、大館市社会福祉協議会の理事として地域社会福祉事業の推進に貢献されました。

齋藤 七郎右衛門氏
(大子内・74歳)



昭和三十四年から現在まで通算二十五年にわたり、民生児童委員として低所得者の自立更生援護、老人・心身障害者・児童・母子等の社会福祉増進に積極的に取り組み、福祉向上に貢献されました。

佐藤 与四郎氏
(大森団地・65歳)



昭和四十三年から現在まで二十五年にわたり、民生児童委員として社会福祉増進に積極的に取り組まれました。特に、花園地区民生委員協議会総務を務め、民生委員協議会の組織強化に尽力されました。

若松 正氏
(豊町・65歳)



昭和四十二年から現在まで二十六年にわたり、民生児童委員として低所得者の自立更生援護、老人・心身障害者・児童・母子等の社会福祉増進に積極的に取り組み、福祉向上に貢献されました。

畠山 壽氏
(別所・66歳)



昭和二十九年に十二所農協青年部長就任以来、四十年にわたり農業振興に貢献されました。特に、昭和五十七年には大館市農協ねぎ部会を結成し、会長として生産拡大と共同販売体制確立に努め、ネギを本市の特産物に発展させました。また、平成元年に就任した大館市稲作集団栽培組合協議会会長として、専業農家の規模拡大、生産体制強

化にも尽力されました。

清野 秀雄氏
(出川・71歳)



昭和四十六年から現在まで二十二年にわたり、交通指導隊員として、学童の登下校時や市の行事・祭典等による交通規制時に率先して街頭指導にあたり、交通事故防止に尽力されました。また、昭和五十五年から平成五年まで、交通指導隊班長として新隊員の育成、班隊員の統括など、指導隊の運営に大きく貢献されました。

渡部 金作氏
(水沢・75歳)



昭和二十五年から現在までの四十三年間に計三十六回の統計調査に従事され、統計調査の目的をよく理解し、失期事例のない模範調査員として統計業務に大きく貢献されました。